

学年	教科	主題名	資料名	児童	指導者
3・4年	道徳科	「友情，信頼」 B 9 規則の尊重	大きな絵はがき (文溪堂)	3・4年 仁組・誠組 19名	山澤 佳浩 米澤 徳之 山腋 敏弘

ねらいとする価値

指導に当たっては、この段階の児童が気の合う友達同士で仲間集団をつくる傾向が見られるため、誰に対しても真心をもって接する態度を育てるようにすることが特に重要である。人に頼むときや失敗して謝るときなど人との関わりを通して、真心は相手に態度で示すことができることに気付かせることもできる。また、家庭や地域社会での日常の挨拶、学習や給食の際の態度、校外学習など見学先での振る舞いなどについて考えさせることも大切である。

児童の実態

事前アンケートの結果、仲のよい友達にどんなことも伝えられると答えた子は6人、伝えられないと答えた子は11人。友達に言いにくいことはなかなか伝えられない実態があることがわかった。友達に嫌われないために、言いにくいことを言えないのでは、仲間集団の中で正しくないことがまかり通ってしまうことも考えられる。居心地のよさだけに目が行き、互いに信頼しているからこそその友情に気付いていないことがわかる。

本時のねらい

登場人物の行動から、自分ならどう行動するかを考え、様々な考え方を比較、検討することを通して、「友達とよりよく生活する」ために必要な判断力を養う。

本時の指導について

自分にとって都合の悪いことでも受け止めてくれる人こそが本当の友達であるという価値に気付かせたい。そのために、ネームプレートを使って、自分の立場を明らかにした上で、判断の理由について話し合い、本当の友達とは、どんな人なのか考えさせたい。

子供の深い学びの姿

楽しく遊んだり、仲良くしたりすることだけが友達ではなく、本当に相手のことを考えた時には伝えにくいことや厳しいことも言わなければならないことに気づき、友達としてどのような行動をとることがよいことなのかを考える姿。

資料について

転校した仲よしの正子さんからの手紙が料金不足だったことを兄には「料金が不足していたことを教えてあげた方がいい」と言われ、母からは「お礼だけ言っておいたほうがいいかもしれないね」と言われ、悩む広子。仲のよい友達だからこそ、どうしたらいいのかわかった末に、「正子さんならきっとわかってくれる」と伝えることを選択する広子。表面上の仲のよさだけでなく、伝えにくいことも伝えられることが友情のよさであることを感じさせる資料である。

本時の学習

(1)ねらい

登場人物の行動から、自分ならどう行動するかを考えることを通して、「友達とよりよく生活する」ための判断力を養う。

(2)展 開

*一単位時間レベルB-②【対話重視】

	教師の働き掛け（○主な発問）	予想される児童の心の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導上の留意点 ◆ 評価の視点 * 思考を活性化させるアクティブ化ポイント
道徳的価値への方向付け5分	<p>1 友達について発表する。</p> <p>○友達ってどういう人のことですか。</p> <p>2 本時の課題を確認し、本時に考えることを明確にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲良しの人。遊んでくれる人 ・ 信頼している人。心が通じ合っている人。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前アンケートの活用 ・ 仲がよい、一緒に遊んでくれるというものから、信頼している、心が通じ合っているなど様々な意見を出しておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">友達について考えよう</div>			
道徳的価値の追求・把握25分	<p>3 資料「大きな絵はがき」を読んで、友達について考える。</p> <p>○広子さんは、どんなことで迷っていたのでしょうか。（資料について問う）</p> <p>○広子さんはどうすることにしましたか。</p> <p>○そんな広子さんの行動をどう思いますか。</p> <p>◎道徳の答えは一つではありません。みなさんが広子さんだったらどうしますか。（自分ごととして行動を問う）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料金が足りないことを伝えようかどうか迷っていた。 ・ 手紙に足りないことを書くか書かないか迷っていた。 ・ 知らせることにした。 ・ いいと思う。 ・ いいけど、他の方法もあったのではないか。 ・ 教えない方がよかったと思う <p>【伝えない】</p> <p>○仲がいい友達だからがまんする。</p> <p>○伝えたら友達じゃなくなるかも。</p> <p>【伝える】</p> <p>○まちがっていることはきちんと伝えないとだめ。</p> <p>○友達だからこそ伝える。</p> <p>【その他】</p> <p>○1回目は伝えないで何度か続いたら教える。</p> <p>○同じような手紙を送って、料金が足りないことに気付いてもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材は前日に配付し、読ませておく。切手の値段や定形外郵便については、総合の学習の時間に指導済み。教師が範読する。 ・ 正子と広子、お兄ちゃんとお母さんのイラストを使い、資料の人間関係をわかりやすくする。 ・ 仲が良い友達だからこそ悩んでいることを確認する。 <p>* 理由を確認した後、立場の違う考えについて質問したり、意見を言ったりすることを通して、それぞれの行為の理由や価値について深めていく。</p>

	<p>4 役割演技をして比較する。</p> <p>○今から、先生が広子さんになってセリフを言います。みなさんは、それにどう答えるかを考えてください。</p> <p>【広子のセリフ】 「お手紙ありがとうございます。でも、はがきが大きいときは、切手の値段が違うから、今度から気を付けてね。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・えっ、そうだったの。今度から気を付けるね。 →「友達じゃなくなっちゃったかな？」 ・せっかく絵はがき送ったのに。もう送らないね。 →「これって、友達かな？」 ・教えてくれてありがとうございます。迷惑掛けてごめんね。 →「友達じゃなくなっちゃったかな？」 	<p>★ 役割演技を取り入れ、自分が正子だったら、正直に伝えた広子になって答えるかを体験させ、仲のいい友達ならなんと答えるか考えさせる。</p>
<p>道徳的価値の内面化10分</p>	<p>5 友情を大切にしている行動するときに大事なことは何か考える</p> <p>○今日の話し合いをして、自分にとって本当の友達とは、どんな人のことだと思いましたか。(課題について問う)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言いにくいことも言える信頼し合っている人 ・お互いのよさをわかっている人 ・なんでも話し合える人 △仲がいい人、遊んでくれる人 →事前アンケートと変化なし 	<p>◆事前アンケートと話し合い後の意見を比べ、友達としてどのような行動がよりよいについて考えている。(発言、道徳ノート)</p>
<p>楽しいことも言いにくいこともどちらも言える信頼し合っている関係が本当の友達。</p>			
<p>実践への意欲化5分</p>	<p>6 教師の説話を聞く。</p> <p>○「本当の友達って」という詩を紹介する。</p> <p>7 授業の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達は、楽しいだけでは無く、苦しいことやつらいことも一緒に乗り越えていける人のことなんだね。 	<p>◆授業を通して改めてわかったことや自分にはなかった考え、この部分が難しかったことなどについて記述している。(道徳ノート)</p>

(3) 板書計画



